

平成 16年 3月期 第 1 四半期業績の概況（連結）

平成 15年 7月 31日

上場会社名 ユニ・チャーム株式会社
 コード番号 8113
 (URL http://www.unicharm.co.jp/)
 代表者 代表取締役社長 高原 豪久
 問合せ先責任者 常務取締役 丸山 茂樹

上場取引所 東
 本社所在都道府県
 愛媛県
 TEL (03)3447-5111

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

会計処理の方法の最近連結会計年度における : 無
 認識の方法との相違の有無
 連結及び持分法の適用範囲の異動の状況 : 有 連結（新規）1社

2. 平成16年3月期第1四半期の業績概況（平成15年4月1日～平成15年6月30日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況

(注)記載金額は百万円未満を切り捨て

	売上高		営業利益		経常利益		当期（四半期） 純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
16年3月期第1四半期	57,665	-	7,864	-	8,120	-	4,105	-
15年3月期第1四半期	-	-	-	-	-	-	-	-
(参考) 15年3月期	223,168	8.0	25,793	35.9	25,895	35.2	12,879	45.5

	1株当たり当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	
	円	銭	円	銭
16年3月期第1四半期	60	84	-	-
15年3月期第1四半期	-	-	-	-
(参考) 15年3月期	185	29	-	-

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期比増減率を示しておりますが、前年同四半期決算を行っていないため記載を省略しております。
 前年同四半期については、四半期決算を行っていないため記載を省略しております。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

(注)記載金額は百万円未満を切り捨て

	総資産		株主資本		株主資本比率		1株当たり株主資本	
	百万円		百万円		%	円	銭	
16年3月期第1四半期	193,670		116,873		60.3	1,732	09	
15年3月期第1四半期	-		-		-	-	-	
(参考) 15年3月期	187,987		113,136		60.2	1,674	47	

(注) 前年同四半期については、四半期決算を行っていないため記載を省略しております。

【連結キャッシュ・フローの状況】

(注)記載金額は百万円未満を切り捨て

	営業活動による キャッシュ・フロー			投資活動による キャッシュ・フロー		財務活動による キャッシュ・フロー		現金及び現金同等物 期末残高	
	百万円			百万円		百万円		百万円	
16年3月期第1四半期	7,414			7,536		918		40,513	
15年3月期第1四半期	-			-		-		-	
(参考) 15年3月期	27,185			26,410		9,805		41,568	

(注) 前年同四半期については、四半期決算を行っていないため記載を省略しております。

3. 平成16年3月期の連結業績予想（平成15年4月1日～平成16年3月31日）

(注)記載金額は百万円未満を切り捨て

	予想売上高		予想経常利益		予想当期純利益	
	百万円		百万円		百万円	
中間期	115,000		13,000		6,700	
通期	240,000		27,500		14,000	

(参考) 1株当たり予想当期純利益（通期） 205 円 25 銭

上記の予想には、本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。実際の業績は、競合状況・為替の変動等にかかわるリスクや不確定要因により記載の予想数値と異なる可能性があります。

[経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的状況等]

当第1四半期におけるわが国経済は、米国経済の減速や個人消費の低迷による国内需要の不振から、依然として厳しい状況が続いております。

このような状況の中で、当社は、国内ベビーケア事業においては、パンツ化の促進や高付加価値製品の市場投入により売上高を伸ばいたしました。ヘルスケア事業やペットケア事業においては、市場成長以上の成長率を実現いたしました。海外では、東アジアを中心に積極的なエリア拡大とブランド浸透策を通じて順調に業容を拡大いたしました。また、利益につきましては、国内事業では増収効果と販売促進費等の経費の効率的な活用により、また、海外事業においては売上拡大に伴う利益率の向上によって、予定通り進捗することができました。この結果、売上高は576億円、営業利益は78億円、営業利益率13.6%（前連結会計年度比2.0%ポイント上昇）、経常利益は81億円、経常利益率14.1%（前連結会計年度比2.5%ポイント上昇）、当期純利益は41億円、当期純利益率7.1%（前連結会計年度比1.3%ポイント上昇）となり、当初計画どおりの進捗をしております。

セグメント別の概況

パーソナルケア事業部門

ベビーケア事業

国内では、少子化の影響による需要の減少や長引く個人消費の低迷等で競争が一段と激化いたしました。市場は、2001年度後半以降、価格は下げ止まりの兆しを見せ始めたとはいえ、事業の安定には依然として厳しい状況にあります。

当社はこのような環境にあっても、リーディングカンパニーとして消費者の皆様により高い付加価値を提供していくために、パンツ型紙オムツの市場浸透策を中心に、絶え間ない製品のリニューアルと積極的なマーケティング活動を推進し、低迷する市場の活性化と収益の拡大に努めてまいりました。

今までにない柔らかさとはかせやすさ、動きやすさを実現した新型のはかせるオムツ『ムーニーマン』を、先行発売の中四国・九州・沖縄地区に加え、近畿地区、中部地区、北陸地区で発売いたしました。また今春には、『ムーニー やわらか素材のおしりふき』をはじめ、ベビーウェットティッシュにおいて4品目を新発売、リニューアル発売し、売上拡大に貢献いたしました。

海外では、東アジア地域参入各国（台湾・中国・タイ・マレーシア・シンガポール・インドネシア・フィリピン）において、積極的な販売・マーケティング活動を展開し、市場拡大とテープタイプ『Mamy Poko』、パンツタイプ『Mamy Poko Pants』のブランド浸透を図り順調に業容を拡大いたしました。ヨーロッパにおいては、パンツタイプ型オムツの市場への浸透によって売上を拡大いたしました。

フェミニンケア事業

国内では、生理対象人口の減少により、市場は低調に推移しております。

しかしながら、当社は、生理用品唯一の総合メーカーとして「女性の快適を科学して自由を創造する」という事業理念のもと、『ソフィ』ブランドから安心と快適を実現する製品の開発・改良に注力し、市場の活性化を図ることで、マーケットシェアを拡大いたしました。

生理用ナプキンでは、『ソフィ しっかり吸収』シリーズを改良新発売いたしました。従来の「余裕の吸収力3層吸収体」に加え、横モレ防止機能と後ろモレ防止機能を更に強化することで、経血量が多いと感じている人にも安心してご使用いただけるナプキンとして生まれ変わりました。

生理用ショーツにおいても、ヒップハングのボクサー型で人気の『ソフィ スタイリッシュフィット』より、春のパステルカラー「コーラルピンク」を新発売し、ラインアップの拡大を図りました。

このような商品の付加価値の向上とともに、「ソフィ誕生20周年企画」を実施し、需要の喚起とブランド力の強化に注力いたしました。

海外では、東アジアでの展開を加速するために、積極的にマーケティング活動を行い、順調に業容を拡大いたしました。

ヘルスケア事業

当第1四半期における国内ヘルスケア事業は、成長市場における競争激化の下で、売上高を拡大いたしました。高齢化が進む中で市場の確実な成長とともに、「生命の歓びを追求する」を事業理念に、心と身体の寝たきりゼロを目指して、『ライフリー』ブランドの開発・改良に注力してまいりました。

寝て過ごすことが多い方に最適なオムツとして、『ライフリー 横モレ安心テープ止め』を改良新発売いたしました。また、介護現場におけるスキンケアの重要性の高まりに対して、男性・女性それぞれの身体特徴に合わせた独自の構造で、スキンケア機能とモレ防止機能を追及した肌トラブル予防まで考えた尿取りパッド、『ライフリー お肌さらさらパッド 長時間用』、『ライフリー お肌さらさらパッド ナイトガード』を改良新発売いたしました。

海外では、台湾において『Liferee』ブランドの展開を加速するとともに、ヨーロッパを中心としたパンツ型紙オムツも順調に売上を拡大しております。

クリーン&フレッシュ事業

当社がこれまで培ってまいりました不織布・吸収体技術を応用した製品を通じて、お客様へ清潔・安心・新鮮を提供するクリーン&フレッシュ事業では、今春、一般用ウェットティッシュ『シルコット ウェットティッシュ』ブランドと、化粧パフNo.1ブランドの『シルコット』ブランドのパッケージを一新して改良新発売いたしました。このようにクリーン&フレッシュ事業は、新しいお掃除習慣を提案し好評をいただいている『ウェーブ』シリーズとあわせ、ブランドの浸透と製品付加価値の向上を図っております。

ペットケア事業部門

連結子会社ユニ・チャームペットケア株式会社にて事業運営しておりますペットケア事業における市場は、高齢化に伴うペット飼育世帯の増加などにより、中長期にわたり成長が期待される有望市場であります。

このような市場環境下において、ペットフード製品では『ねこ元気 体重が気になる猫用』、『ねこ元気 毛玉ケア 体重が気になる猫用』や、『愛犬元気 健康ビスケット』シリーズなど、愛猫や愛犬の健康とおいしさを追求した新製品を積極的に発売することによって高付加価値セグメント市場を創造するとともに、売上高を拡大いたしました。一方、不織布・吸収体技術を応用した『デオシート』、『デオサンド』、『ペット用紙オムツ』などのペットケア製品はラインアップの拡大や、たゆまない製品機能の強化により、堅調に売上高を拡大いたしました。

その他部門

その他部門では、スーパーマーケットなどを顧客とする食品包材事業を中心に、堅調に売上高を拡大いたしました。

[財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等]

総資産は前連結会計年度末に比べ 56 億円増加して、1,936 億円となりました。また、株主資本は、37 億円増加して 1,168 億円となりました。この結果、株主資本比率は、前連結会計年度末 60.2%から 60.3%となりました。

増減の主なものは、流動資産では現金及び預金が 80 億円減少し、有価証券が 66 億円増加しております。有形固定資産では、建設仮勘定が 24 億円増加しております。投資その他の資産では、投資有価証券が 46 億円増加しております。

(連結キャッシュ・フロー)

当第 1 四半期の営業キャッシュ・フローは、74 億円となりました。これは主に税金等調整前当期純利益 80 億円等によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、75 億円となりました。設備投資 39 億円、投資有価証券の取得 39 億円が主たる要因です。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払額等により 9 億円となりました。

以上の結果、現金及び現金同等物の当第 1 四半期末残高は、前連結会計年度末より 10 億円減少して 405 億円となりました。

[業績予想に関する定性的情報等]

中間期、通期ともに、当初予想（平成 15 年 5 月 6 日公表）と変更ありません。

四半期連結（要約）貸借対照表

（単位 百万円）

科目	当第1四半期末 （平成15年6月30日現在）		前連結会計年度末 （平成15年3月31日現在）	
	金額	構成比	金額	構成比
（資産の部）				
流動資産	87,731	45.3	88,499	47.1
固定資産	105,939	54.7	99,488	52.9
1.有形固定資産	73,222	37.8	71,089	37.8
2.無形固定資産	3,152	1.6	3,309	1.8
3.投資その他の資産	29,563	15.3	25,089	13.3
資産合計	193,670	100.0	187,987	100.0
（負債の部）				
流動負債	59,964	31.0	58,520	31.1
固定負債	10,724	5.5	10,427	5.6
負債合計	70,688	36.5	68,947	36.7
少数株主持分	6,108	3.2	5,903	3.1
（資本の部）				
資本合計	116,873	60.3	113,136	60.2
負債、少数株主持分及び資本合計	193,670	100.0	187,987	100.0

四半期連結（要約）損益計算書

（単位 百万円）

科目	当第1四半期 自平成15年4月1日 至平成15年6月30日		前連結会計年度 自平成14年4月1日 至平成15年3月31日	
	金額	百分比	金額	百分比
売上高	57,665	100.0	223,168	100.0
売上原価	31,602	54.8	123,882	55.5
売上総利益	26,063	45.2	99,286	44.5
販売費及び一般管理費	18,198	31.6	73,492	32.9
営業利益	7,864	13.6	25,793	11.6
営業外収益	486	0.9	1,263	0.5
営業外費用	230	0.4	1,161	0.5
経常利益	8,120	14.1	25,895	11.6
特別利益	367	0.6	535	0.3
特別損失	392	0.7	3,533	1.6
税金等調整前当期純利益	8,096	14.0	22,896	10.3
法人税等	3,599	6.2	8,969	4.0
少数株主利益	392	0.7	1,046	0.5
当期純利益	4,105	7.1	12,879	5.8